

早川りさこ・池松 宏・金子鈴太郎

午後のコンサート

～紀尾井町にて～



早川りさこ
(ハープ)



池松 宏
(コントラバス)



金子鈴太郎
(チェロ)



©島崎陽子

プレトーク

野平多美

(作曲/音楽評論)

14時50分より

～コンサート前のひとときを
楽しいお話とともに～



早川りさこ、池松宏 最新CD

ノスタルジア

3,000円(本体価格)/キングレコード

～ハープとコントラバスが
織りなす不思議な世界



金子鈴太郎 最新CD

パッサカリア

3,000円(本体価格)/オクタヴィア・レコード

盟友三上亮(ヴァイオリン)
との待望のデュオ

2019年12月20日 **金** 開演 15:00
(開場 14:30)

紀尾井小ホール

主催: (株)ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス

3,500円(指定席・税込) 当日 4,000円(税込)

チケットお申込

紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061
チケットぴあ(Pコード:164-725) 0570-02-9999

チケットお申込・お問い合わせ

日本アーティストチケットセンター 03-5305-4545



早川りさこ Risako Hayakawa (ハーブ)

NHK交響楽団ハーブ奏者。東京藝術大学卒業後、<第3回日本ハーブコンクール>及び<第2回アルピスタ・ルドヴィコ・スペイン国際ハーブコンクール>にて優勝。国内主要オーケストラと共演するなど活動の場を広げ、ヒンデミット「木管楽器、ハーブとオーケストラのための協奏曲」アルウィン「ハーブ協奏曲」、リーバーマン「フルートとハーブの為の協奏曲」の日本初演を行う。2013年には、グラミー賞及びアカデミー賞受賞の作曲家 タン・ドゥン氏の新作『13のマイクロフィルムとハーブの為の協奏曲』を作曲者自身の指揮でNHK交響楽団と世界初演した。(この作品はNHK交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団の共同委嘱作品である)作品の誕生から初演を終えるまでのドキュメンタリー番組「涙の書」は各方面で話題となった。現在、国立音楽大学にて後進の指導にもあたっている。

池松 宏 Hiroshi Ikematsu (コントラバス)

1964年ブラジルに生まれる。19歳よりコントラバスを始め、堤俊作氏に師事。桐朋学園大学卒業後、カナダの音楽祭に度々参加、ゲーリー・カー氏に師事。89年NHK交響楽団に入団、94年より同団首席奏者を務める傍ら、ソロや室内楽などでも幅広く活躍。またライブ活動も積極的にを行い、ソロ・コントラバス、アンサンブル、サイレントベース5台による公演等、クラシックの枠にとらわれない柔軟なアイデアとパフォーマンスで数多くの聴衆を魅了した。2006年NHK交響楽団を退団。家族と共にニュージーランドに移住、同年5月にニュージーランド交響楽団首席コントラバス奏者に就任。2014年帰国し現在東京都交響楽団首席奏者。。現在、紀尾井室内管弦楽団、東京アンサンブル、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバー。後進の指導にも力を入れており、現在、東京藝術大学教授、国立音楽大学客員教授。またイギリス、ポーランド、オーストラリア、中国など海外の音楽祭や音楽大学に招かれマスタークラスを行っている。渓流釣りが趣味で、2013年ニュージーランド・ナショナル・フライフィッシング・ベア大会にて優勝。



金子 鈴太郎 Rintaro Kaneko (チェロ)

桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。コンセール・マロニエ、国際ブラームス・コンクール、カルロ・ソリヴァ室内楽コンクールなど、国内外の数々の国際コンクールで優勝、入賞。1999、2000年イタリア・シエナのキジアーナ音楽祭にて、名誉ディプロマを受賞。2004年松方ホール音楽賞大賞受賞。2008年1月のバッハ「無伴奏チェロ組曲全曲演奏会」が高く評価され、音楽クリティック・クラブ奨励賞を受賞。仙台フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、長岡京室内アンサンブル等とコンチェルトを共演。NHK「名曲アルバム」、NHK-FM「名曲リサイタル」に出演。ソロの他にも室内楽に意欲的に取り組み、安永徹、市野あゆみ、エンリコ・オノフリ、大山平一郎、上田晴子氏など、世界的に活躍するアーティストと多数共演。バロックから現代曲までの幅広いレパートリーを演奏し、これまでに日本やハンガリー、オーストリアに



おいて数々の世界初演をおこなう。01年ハンガリーで現代音楽グループ "shyra" を結成。2003年~2007年 大阪交響楽団首席チェロ奏者、2007年~2008年 大阪交響楽団特別首席チェロ奏者。現在はトウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ首席、Super Trio 3°C、ZAZA quartet、東京バロックプレーヤーズ、長岡京室内アンサンブル 各メンバーの他、サイトウ・キネン・オーケストラ等で活躍中。Music Dialogue アーティスト。オフィシャルサイト <http://rintaro.online.fr/>

野平多美 Tami Nodaira (作曲家、音楽評論家)

パリ国立高等音楽院卒業。国立音楽大学講師、東京学芸大学講師を経て、現在、お茶の水女子大学非常勤講師。2005年よりアフィニス文化財団研鑽助成委員、18年6月よりアフィニス文化財団理事。日本フォーレ協会会員。作曲家としては、ギターのための「Water drop」(2017)、絵本と音楽の会「ぐるんぱのようちえん」(作曲、音楽構成2016)ほか作・編曲を多く手がけている。音楽評論家としては、「音楽の友」ほか各誌で執筆中。開館当時のトッパンホールの企画アドバイザーで、軽井沢国際音楽祭などの企画制作にも携わった。主要著書は「魔法のバゲット ~ マエストロ ジャン・フルネの素顔」(全音楽譜出版社)、「フォーレ声楽作品集」(共著/同)などがある。2018年には、野平一郎作曲・室内オペラ「亡命」の台本を書き下ろし話題になった。



紀尾井ホール 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号
tel.03-5276-4500

四ツ谷駅 (JR線・丸の内線・南北線) 麹町口徒歩6分 麹町駅 2番出口 (有楽町線) 徒歩8分
赤坂見附駅 D出口 (銀座線・丸の内線) 徒歩8分 永田町駅 7番出口 (半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分